

# まちの話題

## ウクライナへの願いを込めたひまわり

10アールもの耕作放棄地が、「やさかひまわりの会」の皆さんの手でひまわり畑へと変わりました。

きっかけは、ごみが捨てられた田んぼを見た地元の人たちの「お花を植えたらごみが捨てられなくなるらしい」という会話でした。その後、みんなでお宮掃除を行った日、ウクライナの平和を願って黙とうを捧げ、ウクライナの国花であるひまわりを植えようと、「やさかひまわりの会」が設立。荒れていた耕作放棄地を整え、種を植えました。

満開のひまわりを一目見ようと市内外から多くの方が訪れ、夏の始まりを楽しんでいました。(見頃は終了しています)



## 地元高校生がひまわりの絵をプレゼント！

地元の高校生がひまわりの絵を描いて、「やさかひまわりの会」へ贈ってくれたとの報告がありました。見ているだけで元気もらえるようなすてきな絵で、会の皆さんもとても喜んでいました。



ウクライナ国旗の  
ようなひまわり畑



青空の下大きく  
咲くひまわり

## 空手で全国大会出場

6月13日、小郡市希み道場に所属する小学3年生から大人までの計7人が、4月に開催された福岡県空手道選手権大会で好成績を収め、全国大会出場を市長に報告しました。

毎年小学生の部で数人を全国大会へ送り出している創設およそ30年の希み道場。今年はそれに加え、高校生・大人の部でも全国大会へ駒を進め、練習の積み重ねが結果として表れたとのこと。保護者代表をしている中島さんは「市長が道場に来てくれて、全体の士気が高まった。選手が上位をめざせるようサポートしたい」と話しました。



## レスリングでアジア・世界大会出場

6月9日、三井高校2年の東佐和さん(写真左から2番目)、鬼塚一心さん(写真右から2番目)が、全国大会で好成績を収め、東さんはアジア選手権出場、鬼塚さんは世界選手権出場を市長に報告しました。

コロナで練習が困難な時期があっても、監督や卒業生などさまざまな人のサポートがあり、その感謝を口にしていた二人。東さんは「悔いの残らないよう自分のレスリングをしたい」と話し、鬼塚さんは「さらに技を磨いて、世界でも圧倒的に勝ちたい」と語りました。





## 「夢」を「志」に変える 塾生13人がI-PEX株式会社を企業訪問

7月9日、小郡寺子屋「志学舎」の塾生13人がI-PEX株式会社を訪問しました。

同社は、コネクタやセンサーなどの部品の設計・開発・製造を行っています。製品を高精度に作るための人材や技術が福岡県に集まっていること、社員が快適に働くための環境・人づくりに取り組んでいることなどを学びました。特に、ペーパーレスで社内のどこでも仕事ができる環境には、参加者全員が驚きでいっぱいの様子でした。

企業理念や製造現場に触れ、塾生からは「世界初の製品を作っているすごい」「機械に興味があった」「将来、こんな環境で仕事をしたい」などの声が聞かれ、“実際に働く人と接しながら直接学ぶこと”ができた貴重な体験となりました。



## 小郡市ふるさとスポーツ大使の 猶本光さんが市長を表敬訪問

6月6日、小郡市出身のプロサッカー選手でスポーツ大使の猶本光選手(三菱重工浦和レッズレディース所属)が市長を表敬訪問しました。

今季、猶本選手はリーグ戦全20試合に出場し、優秀選手賞27人にも選出。日本代表としても、1月に行われた試合でゴールを決めるなど、活躍を続けています。また、5月には12歳以下対象のサッカー指導者資格を取得し、違った視点でサッカーを見ることで、自分のプレーにも生かせると話します。

今後の目標は「2023年の女子ワールドカップに出場し、再び日本の女子サッカーを世界一にしたい」と意気込みを語りました。



## 如意輪寺 夏の火祭

かえる寺と呼ばれて親しまれる如意輪寺(横隈)で、毎年7月17日に行われる「夏の火祭」。暑い夏を無事に過ごせるようにと開かれ、市内外から多くの参拝客が訪れます。

今年も、住職による法話、護摩焚き、大道芸人によるパフォーマンス、かえるの舞などが行われました。夕方には、おごおり七太鼓白鷺会による太鼓の演奏もあり、参拝客は迫力ある演奏に引き込まれていました。

境内では、9月30日まで、風鈴に願いを書いて境内に奉納する「風鈴まつり」が行われています。風鈴は、社務所で1個500円で購入できます。皆さんも願い事を書いてみませんか。

